

～ 農業技術の実証実験を通して遠隔での農作業支援を実現 ～
ローカル 5G を活用した、NTT 東日本の SDGs 達成に向けた取り組み

NTT 東日本は、2015 年 9 月に国連で採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」の達成に向け、ICT を通じた付加価値の高いサービスをさまざまな分野で提供し、社会的課題の解決に貢献しております。

本資料では、NTT 東日本が進める、ローカル 5G を活用した新しい農業技術の実証実験を通して、遠隔での農作業支援による SDGs 達成に向けた取り組みについて紹介しております。農業分野および SDGs 達成に向けた取り組みに関して、担当者へのインタビューも調整可能ですので、企画参考資料としてご覧いただき、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

ローカル 5G を活用し、より高いレベルの生産性向上に貢献

本実証実験（※1）は、公共財団法人東京都農林水産振興財団と、NTT 東日本および NTT アグリテクノロジーとの三者で連携協定を 2020 年 4 月に締結し、実証試験に向けた環境整備を進めてまいりました。

2021 年 6 月から、ローカル 5G と超高解像度カメラやスマートグラス、遠隔操作走行型カメラ等を活用した農作業支援の実証試験を開始しており、東京都調布市にある NTT 東日本研修センタ敷地内に設置した試験ほ場で栽培したトマトの生育状況等の高解像度映像を試験ほ場と東京都農林総合研究センター内の研究所（東京都立川市）間でリアルタイムに共有することで、技術指導の効率化による生産性向上や指導の高品質化による失敗のない農業の実現を目指しております。

※1 ローカル 5G を活用した遠隔での農作業支援の実証試験開始について：https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20210625_02.html



■ 取り組みの背景

全国的に農業経営体数は年々、減少傾向となっており、「生産性の高い農業」と「省力化」の両立が社会的課題となっている状況です。また、東京における農業は小規模分散型であり「技術指導員にかかる人手不足の解消」「移動制限があるコロナ禍での新しい技術指導のかたち」の実現も求められております。




この現状を受け、NTT 東日本では、ローカル 5G を介して試験ほ場に設置している 4K カメラやスマートグラス、遠隔操作走行型カメラ等で撮影した映像データを技術指導員がいる研究所に伝送することで、高品質な技術指導を遠隔から実施し、失敗のない栽培の実現を目指しております。

同時に、世界で課題とされている SDGs に対して「経済生産性の達成」「フードロス削減」の観点で取り組みを進めており、次項では、SDGs（【目標 8：働きがいも 経済成長も】、【目標 9：産業と技術革新の基盤を作ろう】、【目標 12：つくる責任 つかう責任】）の達成に貢献している具体的な取り組みについて紹介しております。

<参考> 農業経営体数の減少



■SDGs に関する取り組み内容

<p>8 働きがいも 経済成長も</p>  <p>目標 8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>全国的な課題となっている農業人口の減少に対して、本実証を通してほ場から共有される高画質映像をもとに遠隔地にいる専門家が指導を行うことで現地の作業員が栽培未経験者でも定植～出荷まで完遂し、収穫物については市場への流通も行うことが可能になりました。</p> <p>2023 年度を目標に、東京の生産者に対して遠隔から農作業を支援するモデルを広め、イノベーションを通じてより高いレベルの経済生産性を達成に貢献していきたいと考えています。</p>
<p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p>  <p>目標 9 産業と技術革新 の基盤を作ろう</p>	<p>試験ほ場には、4K カメラ、360 度カメラ、走行型カメラ、スマートグラスを設置しており高解像度の映像を撮影することが可能です。さらにローカル 5G を活用することで、高画質かつ遅延のないデータ転送を実現し、リアルタイムで遠隔地にいる専門家が現地の状況を確認することができます。その結果、従来方式では週 1 回の現地指導を行っていましたが、遠隔で 1 日 5～10 分程度映像データを確認する方式となり、毎日の変化に応じた適切な対応ができるほか、一人の専門家で複数の生産者の農作業支援ができるようになりました。</p>
<p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>目標 12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>収穫したトマトは、地域の市場流通、NTT 東日本の社員食堂での利用、スマートストア（無人ストア）への流通、こども食堂かくしゅうじ、つつじヶ丘こども食堂などの地域のこども食堂等への提供など、フードロス 0 化に向けた取り組みを順次進めております。仲買様・小売店様からは「糖度が高くとても美味しい」と高い評価をいただいております。</p>

■取材対象者の紹介

取材対象者① 実証実験担当者

<プロフィール>

NTT 東日本 経営企画部 営業戦略推進室

<取材可能内容>

- ・本実証実験の背景、農業分野における今後の取り組みについて
- ・本実証実験が推進する SDGs への取り組みについて

取材対象者② 栽培スタッフ

<プロフィール>

- ・農業未経験者（自宅での家庭菜園経験レベル）

<取材可能内容>

- ・ローカル 5G 実証ハウスでの作業内容について（研究所とのやり取りなど）
- ・農業未経験者目線での働きやすさについて

取材をご希望の方は下記担当者までお問い合わせください。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社ブラップジャパン NTT 東日本 広報担当 山本・桑村
TEL : 03-4580-9105 E-mail: pr-ntt-east@prap.co.jp

東日本電信電話株式会社（NTT 東日本）広報室 報道担当
03-5359-3711 houdou-gm@east.ntt.co.jp